

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

石川県珠洲市 珠洲市総合病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	13	-	D透訓	救臨へ災
人口(人)	建物面積(m <sup>2</sup> )	不採算地区病院	看護配置	
14,752	12,865	非該当	10:1	

※1 D…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

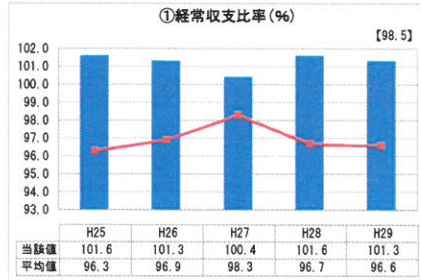
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
156	32	7
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	195
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
154	-	154

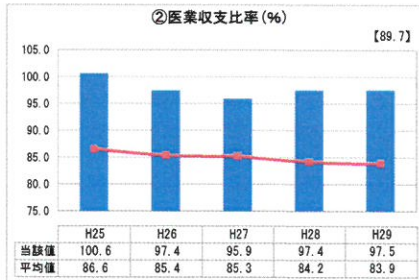
グラフ凡例

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- [ ] 平成29年度全国平均

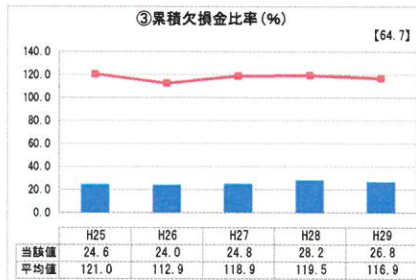
## 1. 経営の健全性・効率性



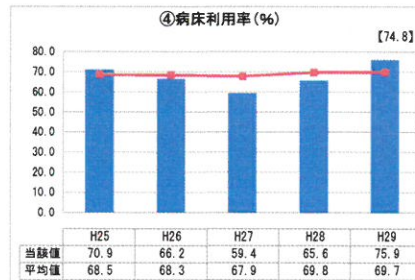
「経常損益」



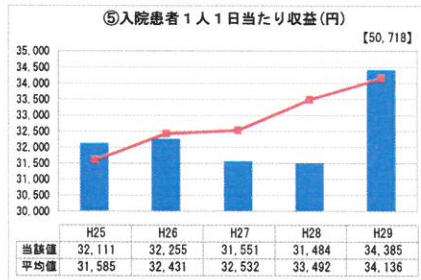
「医業損益」



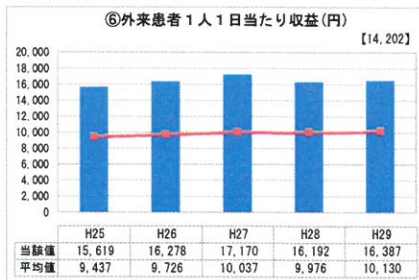
「累積欠損」



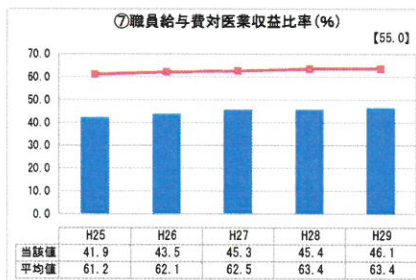
「施設の効率性」



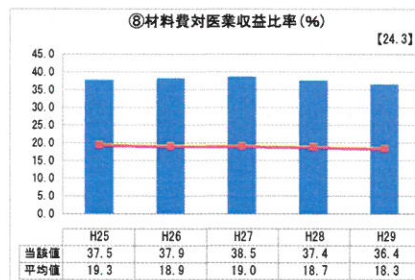
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

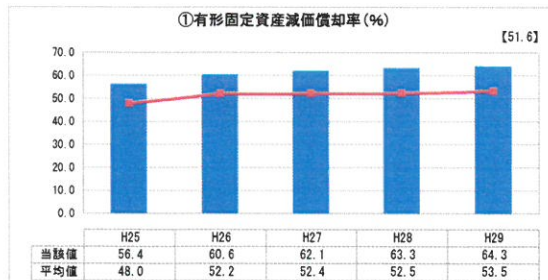


「費用の効率性①」

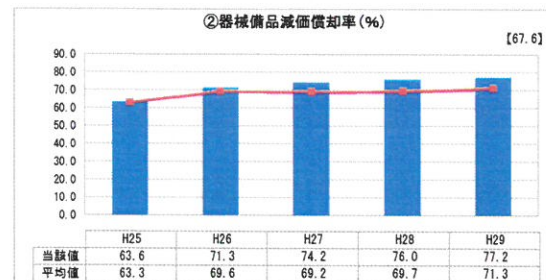


「費用の効率性②」

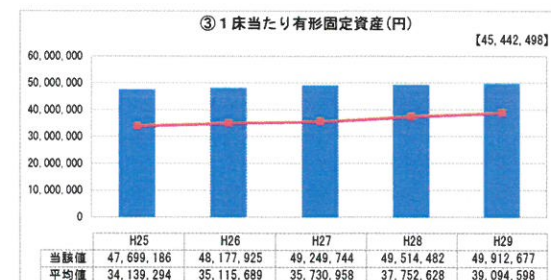
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「器械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

## I 地域において担っている役割

「市民の心の支えとなる。地域の中核病院」を病院理念として、医療設備の更新、電子カルテの導入等により、より良質な医療、効率的な医療の推進に努めている。  
また、地域に根ざした医療と健康管理を基盤とした、地域保健、健康推進活動およびプライマリー・ケアからリハビリテーション、さらには在宅医療サービスに至る連続した包括的な地域医療に取り組んでいる。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

本市は過疎化・少子高齢化が進んでおり、本院の入院・外来患者数ともに減少傾向で推移している。そのような状況においても、①経常収支比率、②医業収支比率及び③累積欠損金比率とともに、類似団体の平均値より良い指標となっており、健全経営が保たれている。  
④病床利用率は、療養型病床32床を休したことにより、10.3ポイントと大幅に改善されている。  
⑤入院患者1人1日当たり収益及び⑥外来患者1人1日当たり収益は平均値を上回っており、安定的な収益を確保することが出来ている。  
⑦職員給与費対医業収益比率は平均値を大きく下回っており、職員給与費の占める割合は低くなっている。  
一方⑧材料費対医業収益比率は平均値を大きく上回っているが、これは院内処方を行っていることによるものと考えられる。

### 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率及び②器械備品減価償却率は、類似団体の平均値を上回っており、施設全体でも機械備品においても法定耐用年数を経過した資産を多く保有している現状にある。  
また、③1床当たり有形固定資産についても類似団体の平均値を上回っているが、これは平成9年度に新病院が建設されてから20年が経過し、設備更新の費用が年々増加していることによるものと考えられる。今後は長期的な更新計画に基づき、適切に資産の更新を図っていく。

### 全体総括

経営の健全性・効率性を示す指標は概ね良好である。経常収支比率も100%を超えて、単年度収支で黒字が続いており、当分の間は安定的な経営が出来るものと考えられる。  
しかし、長期的な視点にたつと、人口減少に伴う入院・外来患者数の減少傾向は続くものと考えられ、いかにして経営の効率化を図るかが課題である。  
また、老朽化の状況を示す指標は、類似団体の平均値を下回っており、老朽化した資産を多く抱えているのが現状である。  
今後は老朽化した資産を順次、計画に基づき更新していく予定である。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。